

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	法令の基準に適した、適切なスペースを確保しています。また、活動や状態に合わせて部屋を分けています。	法令を遵守したスペースを用意しておりますが、利用時間が重なる場合には手狭感が否めないと感じられることもあり、より良い環境となるようにいっそう工夫してまいります。
	2 職員の配置数は適切である	6	0	基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は全員有資格者です。	急な欠員があった場合でも、問題なく対応できるよう、適切な配置に努めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	6	出入口の階段は段差がありますが、手すりを配置しており、移動には支障がない環境となっております。	完全なバリアフリーではありませんが児童が過ごしやすいように工夫を行い、階段は必ず職員が付き添って昇降しております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	職員が参画して定期的に現状把握と改善点を討議しています。	今後もより良い支援ができるように全職員で情報共有や課題確認、振り返りなど、現状把握と改善点の把握に努めていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者様へのアンケートは毎年実施し、ご意向を確認し、業務改善に繋げております。	評価を頂いたアンケートを踏まえ、保護者様のご意見をもとにより良い支援ができるように努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	現時点では第三者による外部評価は行われていません。	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っています。	今後も、定期的に研修の機会を設け、資質・能力の向上に努めてまいります。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	アセスメントから児童や保護者様のニーズに寄り添い、適切な計画を作成しております。	今後も、より良い療育で児童の成長に繋がるよう、保護者様のご意向を踏まえたうえで計画を作成してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況を把握し、療育に繋がっています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や、特性を加味しながら、全職員で話し合い、立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	季節ごとのプログラムや、その年の時事も取り入れて工夫しています。	今後もプログラムが固定化しないよう配慮し、児童の状態に基づき、協議を通して日々の活動決定に努めてまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	児童発達支援管理責任者がプランを作成、平日は学習支援を中心とし、休日や長期休暇は集団活動を取り入れるように工夫してバランスの取れた支援ができるようにしています。	今後も平日は学習支援を中心とし、長期休暇にはイベントや集団活動を取り入れた支援方法を考え、課題設定を工夫してまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	児童の特性や時間、状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	支援開始前には、当日の予定や支援内容を話し合う時間を設け、確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	支援終了後は話し合いが困難な場合もあり、翌日の支援前の打合せで、支援の振り返りを行っています。	
関係機関や保護者との連携	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援当日に必ず支援経過記録を残すように徹底し、次の支援担当へつなぎ、その都度見直し、支援の改善に努めています。	支援経過記録は、職員間で情報共有、検証、改善を重ね、より良い支援に繋げていけるよう改善してまいります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	半年ごとに必ずモニタリングを実施し、児童の状況や保護者様のニーズを把握、分析し、計画を作成しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	支援はガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、児童の特性や年齢、季節も考慮した構成となるように心がけています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	担当者会議には、児童の状況を把握している児童発管が参画しています。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	送迎時の機会に学校が発行している行事予定を頂いたり、情報共有に努めていきます。	保護者や学校担任とも連携を図り、変更などのトラブルの予防に努めていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	必要に応じて、関係機関と連絡を取り合い、情報共有や総合理解をしています。	関係機関とは、担当者会議や関係者会議を通して総合理解に努めていきます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	該当する児童がいない為、提供には至っていません。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	児童発達支援センターや専門機関と連携し、助言等を受けています。	
保護者への説明責任等	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	今年も新型コロナウイルスの感染予防のため外部交流の機会がありませんでした。	コロナ収束後、保護者様のご意向をいただいたうえで、交流機会を探っていきます。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	6	今年もコロナ渦のため研修の参加機会をもてませんでした。	コロナ収束後、積極的に協議会に参加し、連携の強化に努めていきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳や送迎時、家庭訪問の面談で支援内容や様子を伝え、保護者様と情報交換をおこなうことで、状況や課題について共通理解を深めています。また、必要に応じて電話連絡や家庭訪問をおこなっています。	あらゆる機会に児童の様子をお伝えし、同時にご家庭での様子や課題などを伝え合い、相互情報を共通理解することで、児童の支援に活かしていきます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	保護者様より、児童の成長のお悩みや関わり方についてご相談を受けた場合には丁寧に対応させていただいています。	今後も保護者様のお悩みに寄り添いながら、ご家庭でも取り組める効果的な関わり方をご提案するなど、相互で連携した支援を心がけてまいります。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に丁寧に説明をおこなっています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	児童の状況や課題を十分に把握して色々な視点からの助言ができるよう心がけています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	今年も父母の会を開催する機会を設けることができませんでした。	コロナ収束後、保護者様のご意向に配慮しながら、保護者様同士や職員との交流の機会を検討してまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情窓口を決め、迅速に対応出来るように努めており、苦情をいただいた場合には全職員に通知し、ご意向の内容と対応について共通理解を図っています。	
非常時等の対応	34 定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	年4回季刊誌を発行し、LINE公式アカウント等でブログの更新や情報をお伝えし、Webサイトでは事業所の様子をお伝えしています。	今後も定期的な「おたより」やWebサイトでのブログでの活動報告を継続してまいります。
	35 個人情報に十分注意している	6	0	個人情報を取り扱いに注意し、ファイルは鍵付き書庫に保管しています。写真掲載のさいにも保護者様の同意をいただくようにしています。	今後も個人情報についての細心の注意を払い、取り扱い・保管に努めてまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	児童の特性に合わせ、視覚的に分かりやすい伝達方法を提供しています。また保護者様には専門用語を避け、分かりやすい説明を心がけています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0	6	今年も、地域住民を招待するなどの交流はありませんでした。	コロナ収束後、保護者様のご理解やプライバシーに配慮しながら地域交流の機会を検討していきます。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	保護者様にもご覧いただけるよう、マニュアルは事業所に掲示し、事業所内研修で職員共に共通理解を図っています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に様々な災害を想定した避難訓練や、不審者対応訓練を実施しています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	年間計画に基づき職員研修を実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めています。	今後も行政主催の研修へも参加して、更に研鑽に努めていきます。
非常時等の対応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されており、児童が安全に過ごせるように声かけをしたり、遊びの提供をおこなっています。	今後も原則として身体拘束を行わない姿勢を守りながら、緊急時や児童の命に関わる場合など、やむを得ない状況に限ることを保護者様へ十分に説明をおこない、同意を得て支援計画にも記載していきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギーの有無に関してはアセスメントの段階でお聞きし、おやつ成分・種類等配慮しています。	今後、アレルギー等のある児童の受け入れの場合は、医師と連携し指示書に基づく正しい対応を熟知して、安全な支援に取り組んでまいります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	事例ごとに全員で話し合いの機会を持ち、ヒヤリハット報告書を作成し、ファイル保管しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。